

Course number		U-LAS22 20001 SO48					
Course title (and course title in English)		フランス語II A F2109 Intermediate French A		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Part-time Lecturer,MATSUI SHINNOSUKE	
Group		Languages		Field(Classification)			
Language of instruction		Japanese		Old group		Group C	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)	
Year/semesters		2025・First semester		Number of credits		2	
Days and periods		Thu.5		Target year		2nd year students or above	
Eligible students		For all majors					
[Overview and purpose of the course]							
<p>< 政治・経済 ></p> <p>本講義では、フランスの時事情報がコンパクトにまとめた加藤晴久、ミシェル・サガズ著『時事フランス語 2019年度版：A la page ; actualite francaise 2019』（朝日出版社）を教科書として使用し、フランス語そのものを学ぶ、つまりフランス語（習得）を「目的」として掲げると同時に、フランス語テキストを「使って」、つまりフランス語を「手段」として、フランス語圏の社会やフランス語圏の文化を学ぶことを目的としています。</p> <p>そうして受講者のみなさんがフランス語に関する知見を得るだけではなく、今度はここで得たフランス語の知見を媒介に、日本語、日本の社会や文化、ひいては自分自身のことを考える切っ掛けを見つけることを本講義の究極の目的としたいと思っています。フランス語やフランス語圏の社会文化に触れることで、みなさんの教養が大きく広がることを期待しています。</p> <p>主にテキスト読解とフランス語圏社会文化についてのミニレクチャーになるとと思いますが、テキスト朗読および発音などは通常の講読の授業よりも細かく、粘り強く行う予定です。</p>							
[Course objectives]							
<ul style="list-style-type: none"> ・初級で学習したフランス語に関して、主に読解面でさらに理解を深める。 ・フランス語、フランス語圏の社会やフランス語圏の文化を単体で理解するだけではなく、これまで英語学習で触れてきた英語圏社会や英語圏文化との比較、そして日本語、日本社会や日本文化との比較において理解し、自分で説明できるようになる。フランス語で説明ができれば理想的である。 ・フランス語の朗読、発音をより洗練されたものにする。 ・トピックに対して、日本語のみならずフランス語でも自力で調べて理解できるようになる。 							
[Course schedule and contents]							
<p>教科書の章通りに進むならば、基本的に以下のプランに従って講義を進める。</p> <p>ただし本年度もトピックの時宜、受講者の人数、レベル（進度）、興味志向などに対応して章を入れ替える予定である。</p>							
<div style="text-align: right;">Continue to フランス語II A F2109(2)</div>							

フランス語II A F2109(2)

またフランス語の専門書文献や新聞記事など適宜補助教材をいれたり、発音や文法の特別対応コース、受講者の興味や専門に応じたプレゼンテーションを入れることも想定している。

第1回 ガイダンス、第1章「エマニュエル・マクロン、前進！」

第2回～第5回 第1章続き、第2章「フランス極右勢力の後退」、第3章「EU都市ストラスブール」、第4章「シモーヌ・ヴェーユ」

第6回 小テスト1、第5章「ローラン・ギャロス」

第7回～第10回 第5章続き、第6章「サッカー女子ワールドカップ」、第7章「食事のチャリンコ宅配」、第8章「社会貢献」

第11回 小テスト2、第9章「夏休み」

第12回～第14回 第9章続き、第10章「コンシエルジュ、古くて新しい職業」、第11章「フランスの外国人医師」

第15回 期末テスト

第16回 フィードバック フィードバック方法は別途連絡します。

[Course requirements]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

[Evaluation methods and policy]

平常点：35点

小テスト：各10点×2回＝計20点

期末試験：45点

授業14回中、11回以上の出席を求めます。

20分以上の遅刻は欠席扱いとします。

出席がそれ以下の場合単位を認めません。欠席や遅刻に事情がある場合は考慮できる可能性があるため、その都度相談に来てください。

[Textbooks]

加藤晴久、ミシェル・サガズ『時事フランス語 2019年度版：A la page ; actualite francaise 2019』（朝日出版社）ISBN:978-4-255-35302-9（その他、受講者の興味や専門、レベルを考慮して、フランス語の文献や新聞記事などを補助教材として使うことも想定しています。その際はこちらからあらかじめテキストを配布したり、指示を出したりする予定です。）

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

Continue to フランス語II A F2109(3)

フランス語II A F2109(3)

[Study outside of class (preparation and review)]

- ・事前に次回行う章を発表しますので、次回の講義で行うところは予習必須です。意味を取ってだけでなく、自分で朗読・発音できる状態まで仕上げておくことが大事です。
- ・次回のトピックに関する予備知識を事前にある程度仕入れておいてください。
- ・期間中、5回おき（第6回、第10回）に2度の小テスト（20分程度）を行う予定です。復習はそれ（小テスト対策）を利用して行ってください。

[Other information (office hours, etc.)]

- ・教室内を縦横無尽に動き、授業内でとにかくたくさん当てまくりまします。たくさん発音発話し、たくさんコミュニケーションをとりつつ授業を進める予定です。
- ・授業中のスマホは、事項検索のみならず、発音確認の動画撮影など積極的に利用してもらいます。
- ・指定の教科書を使うだけではなく、パワーポイントや視聴覚資料を応用して、フランス語やフランス語圏の社会文化を学ぶことを目標にしています。
- ・フランス語のみならず、他の言語についての話を援用することで、外国語・言語自体に対する興味が深まることも考慮して授業を進める予定です。

[Essential courses]